

21 世纪大学日语教材

基础日语

(三)

徐敏民 主 编

 复旦大学出版社

基础日语(三)

主 编 徐敏民

编著者 徐敏民 北村よう 彭 瑾 尹 松

李道荣 杉山香子 丁玲玲

復旦大學出版社

图书在版编目(CIP)数据

基础日语(三)/徐敏民主编. —上海:复旦大学出版社,
2006.8

ISBN 7-309-05036-3

I. 基… II. 徐… III. 日语-教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 064659 号

基础日语(三)

徐敏民 主编

出版发行 复旦大学出版社 上海市国权路 579 号 邮编 200433

86-21-65642857(门市零售)

86-21-65118853(团体订购) 86-21-65109143(外埠邮购)

fupnet@fudanpress.com <http://www.fudanpress.com>

责任编辑 黄昌朝

总编辑 高若海

出品人 贺圣遂

印	刷	上海第二教育学院印刷厂
开	本	787×960 1/16
印	张	14.75
字	数	289 千
版	次	2006 年 8 月第一版第一次印刷
印	数	1—5 100

书 号 ISBN 7-309-05036-3/H·989

定 价 20.00 元

如有印装质量问题,请向复旦大学出版社发行部调换。

版权所有 侵权必究

前 言

《基础日语》(三)是上海普通高校“九五”重点教材之一。经过2年试用,不断完善,精益求精,终于出版。本教材的编写,倾注了华东师范大学日语系广大师生多年来的心血。在编写过程中,得到日本国际交流基金的资助,有机会赴日,在日本国立国语研究所金田智子研究员以及参与本教材编写的东海大学北村洋教授的直接指导下,对本教材进行了全面修改。因此,《基础日语》(三)可以说是中日两国学者共同努力的结晶。本教材具有以下特色:

1. 结构新颖、题材广泛、形式多样,具有较强的独创性、系统性和实践性。
2. 打破以语法为核心的传统教材体系,以介绍日本社会的风土人情内容为主线,拓宽学生的语言知识,增强跨文化交际能力。
3. 注重培养学生的创新思维能力,要求学生在掌握课文内容的基础上,进行课堂讨论,并以书面形式加以归纳。
4. 力图通过各种语言素材,将听说读写译融为一体,培养学生的语言综合运用能力。

本册书以大学本、专科二年级学生为主要对象,同时也适用于广大日语学习者。教学安排为每周8~10学时,每学期160个学时左右,掌握词汇约4000个。附有句型、词汇一览表,并配备录音带。

1. 本册书共有15课。每课设有“课文”、“阅读文”、“词汇说明”、“句型说明”、“休息园地”、“日常会话”和“小知识”7个部分。

课文——以介绍日本社会为核心,旨在通过文章阅读,理解课文中的知识点以及出现的词汇、句型,并要求口头表达与书面归纳。

阅读文——主要配合课文进一步拓展话题,培养学生的创新思维能力。通过相互交流,提高学生主动发表自己意见的主观能动性。

词汇说明——是学生具有一定基础以后非常重要的学习环节,也是了解日本文化的窗口与必要途径。

句型说明——尽量避免繁杂的语法知识,以大量的例句加以说明,并要求在掌握的基础上补充完成例句。

休息园地——通过学习日本常用的惯用句,了解日本语言与文化的关系。以提高学习者的兴趣。

日常会话——以贴近日本生活的话题为中心,通过简短的对话,增强学生的语言

基础日语(三)

交际能力。

本教材附有《基础日语练习册(三)》，由听力理解、词汇、综合填空、日汉互译、阅读理解等9部分综合语言技能试题组成。

本教材在编写过程中，得到了与华东师范大学结为合作研究机构的日本国立国语研究所所长杉户清树教授的大力支持，以及金田智子研究员的热情指导，在此表示衷心的感谢！同时，对日本东海大学北村洋教授的全面合作，原日籍专家杉山明男和杉山洋子夫妇为本教材的录音所付出的心血、复旦大学出版社社长贺圣遂、编辑黄昌朝先生的鼎力协助，在此一并表示深深的谢意！

《基础日语》的编写，是一项十分重要而又艰巨的工作。6年来，我们饱尝了其中的艰辛。本教材的出版，若能为日语基础教材的研究开发添砖加瓦，我们将深感欣慰。同时，恳请广大读者多提宝贵意见，使本教材在实际使用中日臻完善。

徐敏民

2005年12月15日

『基礎日語』第3巻の刊行を祝して

『基礎日語』第3巻がここに刊行されます。主編者のお立場で文字通り心血を注がれた徐敏民先生の御尽力、また共編者としてお仕事に携わられた多くの先生の御努力に敬意を表しつつ、心からお祝い申し上げます。

この『基礎日語』は全4巻の構成とうかがうのですが、その第1巻の執筆編集の段階でも、徐先生は滞日なさって私の所属する国立国語研究所でもお仕事をなさいました。そのころのお仕事ぶりは、当時の甲斐睦朗所長が第1巻巻頭に詳しく記している通りです。

その後、徐先生のお勤め先である華東師範大学と国立国語研究所は平成17年1月に学術交流協定を締結する御縁を得ました。協定書を取り交わすために私も華東師範大学にうかがったのですが、その折にも、徐先生は、この第3巻の分厚い草稿をお示しになり、その構想を熱く語られたものでした。

今回、第3巻の編集を仕上げられる段階でも、徐先生は平成17年の秋、国際交流基金日本語国際センター外国人研究員のお立場で来日され、学術交流協定の趣旨を受けて国立国語研究所にもしばしば来所され、特に日本語教育部門・金田智子主任研究員に意見を求められました。先生の「前言」に記された通りです。

全体で15課からなるこの第3巻は、前の2冊と同様に、幅広い分野から多様な内容と形式を備えた教材文章が選ばれています。文字通り、博搜され精選された成果だと思います。そして、それぞれの教材文章ごとに、「単語」「言葉の使い方」「説明」など、指導・学習のために丁寧な情報が提示されています。例えば「説明」には、その課で習得すべき文法事項や表現形式が、豊富な具体例や課題とともに懇切に説明されていて、教室での指導・学習のみならず自学自習にも行き届いた配慮がされています。別冊の『練習帳』には、各課それぞれに豊富な「問題」や「総合練習」が盛り込まれていて、まことに充実した内容と言うほかありません。

こうした第3巻がこのたび刊行されることを、ここに至る徐先生はじめ編集刊行に携わられた先生方の御努力の日々に幾分かでも接した者として、あらためて心からのお喜びの言葉を拝呈する次第です。本当におめでとうございます。

日本 独立行政法人国立国語研究所長

杉戸清樹

2006年1月1日

目 次

第1課 ありの行列	1
本文 ありの行列	2
読解文 サイズと速度	3
言葉の使い方	6
説明Ⅰ	9
説明Ⅱ	12
休憩タイム	13
ミニ会話	13
豆知識 贈り物	14
第2課 習慣とマナー	15
本文 習慣とマナー	16
読解文 訪問者を迎える、家の「顔」——玄関	17
言葉の使い方	20
説明Ⅰ	22
説明Ⅱ	26
休憩タイム	26
ミニ会話	26
豆知識 玄関	27
第3課 何が変わった？ 今の学校、昔の学校	28
本文 何が変わった・今の学校、昔の学校	29
読解文 すごみのある名文	30
言葉の使い方	34
説明Ⅰ	37
説明Ⅱ	40
休憩タイム	41
ミニ会話	41
豆知識 手紙	42

基礎日語(三)

第4課 サッカーから学んだ人生論	43
本文 サッカーから学んだ人生論	44
読解文 学べば禄其のなかにあり	45
言葉の使い方	48
説明	49
休憩タイム	54
ミニ会話	54
豆知識 お返し	55
 第5課 日本の夫のジレンマ	56
本文 日本の夫のジレンマ	57
読解文 器用な日本人	58
言葉の使い方	61
説明Ⅰ	64
説明Ⅱ	67
休憩タイム	67
ミニ会話	68
豆知識 名刺交換	68
 第6課 循環型社会に向けて	69
本文 循環型社会に向けて	70
読解文 自然と「折り合い」をつけて	71
言葉の使い方	75
説明	77
休憩タイム	79
ミニ会話	80
豆知識 風呂	80
 第7課 一瞬を切り取る	81
本文 一瞬を切り取る	82
読解文 俳句について	83
言葉の使い方	87
説明	91
休憩タイム	95

ミニ会話	95
豆知識 お茶	96
第8課 日本人と耳	97
本文 日本人と耳	98
読解文 日本人と自然	99
言葉の使い方	103
説明Ⅰ	105
説明Ⅱ	107
休憩タイム	108
ミニ会話	108
豆知識 もてなし	109
第9課 女性から変える結婚事情	110
本文 女性から変える結婚事情	111
——データから読む日本人の結婚観	
読解文 妻たちは自立する	113
——熟年離婚の増加で問われる夫側の対応	
言葉の使い方	116
説明	119
休憩タイム	121
ミニ会話	121
豆知識 結婚式・披露宴に出席	122
第10課 同じなのに同じでない	123
本文 同じなのに同じでない	124
——漫画・まんが・マンガ	
読解文 マン延するカタカナ表記	125
言葉の使い方	129
説明	132
休憩タイム	135
ミニ会話	135
豆知識 障子	136

基礎日语(三)

第11課 右ならえの思想	137
本文 右ならえの思想	138
読解文 桜と牡丹	139
言葉の使い方	143
説明	145
休憩タイム	149
ミニ会話	149
豆知識 狂言	150
第12課 梅雨に思う	151
本文 梅雨に思う	152
読解文 しとしと	153
言葉の使い方	157
説明	160
休憩タイム	164
ミニ会話	164
豆知識 お盆について	165
第13課 味覚の中の文化交流	166
本文 味覚の中の文化交流	167
読解文 遺伝子組替食品	168
——曖昧な表示に安全性の不安	
言葉の使い方	172
説明	175
休憩タイム	178
ミニ会話	178
豆知識 すし	179
第14課 ケータイ世代への注文	180
本文 ケータイ世代への注文	181
読解文 情報化社会と「私」	183
言葉の使い方	187
説明	188
休憩タイム	192

ミニ会話	193
豆知識 衣生活	193
第 15 課 建前と本音	195
本文 建前と本音	196
読解文 言語と文化の認識	197
言葉の使い方	200
説明	202
休憩タイム	204
ミニ会話	205
豆知識 和	205
文型リスト	207
単語リスト	209



1 第一課 ありの行列

例 文

1. うれしいことに、弟が先月無事卒業しました。
2. 会社の方針に沿って営業活動をする。
3. これは日本での生活の上で必要なものです。
4. 失敗の原因はどこにあるかという点、練習不足にあるのだ。
5. 姉はもちろん、両親まで私の意見に反対した。
6. 長い小説を六ヶ月かけて読みきった。
7. 彼の方が悪いんだから、君が謝ることはない。
8. 薬を飲んだら、かえって痛みがひどくなった。

本文

ありの行列

★読む前に

1. 動物や植物を観察し、記録したことがありますか。
2. 昆虫の行動について、知っていることを話してください。

夏になると、庭の隅などで、ありの行列をよく見かけます。その行列は、ありの巣から、餌のある所まで、ずっと続いています。ありは物がよく見えません。それなのに、なぜ、ありの行列ができるのでしょうか。

アメリカに、ウイルソンという学者がいます。この人は、次のような実験をして、ありの様子を観察しました。

はじめに、ありの巣から少し離れたところに、ひとつまみの砂糖を置きました。しばらくすると、一ぴきのありが、その砂糖を見つけました。これは、餌を探すために、外に出ていた働きありです。ありは、やがて、巣に帰っていきました。すると、巣の中から、たくさんの働きありが、次々と出てきました。そして、列を作って、砂糖の所まで行きました。不思議なことに、その行列は、初めのありが巣に帰るときに通った道筋から、外れていないのです。

次に、この道筋に大きな石を置いて、ありの行く手を遮ってみました。すると、ありの行列は、石の所で乱れて、ちりぢりになってしまいました。ようやく、一ぴきのありが、石の向こう側に道の続きを見つけました。そして、砂糖に向かって進んでいきました。そのうちに、ほかのありたちも、一ぴき二ぴきと道を見つけて歩き出しました。まただんだんに、ありの行列ができていきました。目的地に着くと、ありは、砂糖の粒をもって、巣に帰っていきました。帰るときも、行列の道筋は変わりません。ありの行列は、砂糖のかたまりがなくなるまで続きました。

これらの観察から、ウイルソンは、働きありが、地面に何か道しるべになるものをつけておいたのではないかと考えました。

そこで、ウイルソンは、働きありの体の仕組みを、細かに研究してみました。すると、ありは、おしりの所から、特別の液を出すことが分かりました。それは、匂いのある、蒸発しやすい液です。

この研究から、ウイルソンは、ありの行列のできるわけを知ることができました。働きありは、えさを見つけると、道しるべとして、地面にこの液をつけながら帰る

のです。ほかの働きありたちは、その匂いを嗅いで、匂いに沿って歩いていきます。そして、その働きありたちも、餌をもって帰るときに、同じように、液を地面につけながら歩くのです。そのため、餌が多いほど、匂いが強くなります。

このように、匂いを辿って、餌の所へ行ったり、巣に帰ったりするので、ありの行列ができるというわけです。

この液の匂いは、ありの種類によって違うことも分かりました。それで、違った種類のありの道しるべが交わっていても、けっして迷うことがなく、行列が続いていくのです。

『中学校国語教科書』より

I. 質問

1. ウイルソンはどんな順序で実験を行いましたか。
2. ありの通り道に石を置いたら行列はどうなりましたか。
3. 働きありがおしりから出す液は、どんな働きをしていますか。

II. 課題

本文の内容を300字程度で要約してください。

読解文

サイズと速度

動物の、いちばん動物らしいところは、動くことである。走り、飛び、泳ぐことと、サイズとの関係は、どうなっているのだろうか。

すぐ気づくことは、大きいものほど速い、ということだ。アリよりネズミ、ネズミよりネコ、ネコよりイヌと、速く走れるようになる。地上を走るものの自己ベスト記録を眺めてみると、サイズが大きくなるにしたがって速くなる。飛ぶものや泳ぐものでも、同様である。速いということは、餌を捕まえる上でも、逆に捕食者から逃れる上でも有利なので、これはサイズが大きいことの利点となる。

ただし、サイズがどんどん大きくなれば、際限もなくどんどんと速くなるかというと、そう単純でもない。地上でいちばん速いランナーはチーターだと言われている。時速110キロメートル。チーターの体重は55キログラムで、実は、これ以上体重が増えても速度はほとんど増えない。100キログラムを超すと、走る速度はかえって遅くなる。サイズの上限に近いところで速度が減少するのは、泳ぐものでも同

基礎日語(三)

様で、マグロ(80キログラム)は、時速100キロメートルを誇っているが、クジラはそれよりだいぶ遅い。ゾウやクジラほどの大きさになれば、捕食者に襲われる心配はないので、ゆっくりと草を食べ、オキアミをすくいにとっていけばよいのであろう。

走ったり歩いたりする速度は、一步の歩幅に比例する。これは自分で試してみればすぐに分かることだが、ゆっくり歩くときよりも速く歩くときの方が、一步の長さが長くなるし、走ればさらに歩幅が伸びる。これは四足の獣でも同じことで、歩幅に比例して速度が大きくなる。

歩幅はもちろん足の長さにも比例するから、大きい動物ほど速く走れる。ただし、これには制限がある。歩くときと走るときとでは、歩幅だけでなく、足の動かし方もまったく違う。たとえば、ウマがゆっくり歩いているときには、必ず2本以上の足は地面についているが、ギャロップで駆けはじめると、地面についている時間も少なくなる。ギャロップでは、ある瞬間には、体全体を空中に浮かべていて、次の瞬間には一本足で着地するなどということを繰り返しやるのだから、サイズが大きくなると、足にかかる衝撃は大変なものになり、足は体を支えきれなくなってしまう。そのためだろう、ゾウのような非常に大きな動物では、ギャロップで駆けることはない。大きいと骨格系に無理な力がかかりやすく、それが制限となって、あるサイズ以上になると、かえって最高速度が落ちてしまうのである。

『中学校国語教科書』より

I. 質問

1. 一般に大きい動物ほど速く走れるのはなぜですか。
2. ゾウがあまり速く走れないのはなぜですか。
3. 動物が走り、飛び、泳ぐこととサイズとの関係をまとめなさい。

II. 発展

今までに動物か生物を観察したり或いはそれを使って実験をしたりしたことがありますか。どんな観察または実験で、どんなことが分かりましたか。400字程度で書いて、クラスで話し合ってください。

単語

あり①	蟻[名]	蚂蚁
ぎょうれつ①	行列[名]	行列
す①①	巢[名]	巢
ウイルソン②①	Wilson[人名]	威尔逊(美国蚁学教授)
えさ①②	餌[名]	饵食

かんさつ①	観察[名・他動 3]	观察
つまみ①	摘み[名]	撮
ふしぎ①	不思議[ナ形]	不可思议
みちすじ①	道筋[名]	道路, 路线
はずれる①	外れる[自動 2]	脱离, 离开
ゆくて①	行く手[名]	前方, 前途
さえぎる③	遮る[他動 2]	遮挡
ちりちり①	[名]	四散
つぶ①	粒[名]	粒
みちしるべ③	道しるべ[名]	路标
(お)しり①	お尻[名]	臀部
えき①	液[名]	液
じょうはつする①	蒸発する[自動 3]	蒸发, 失踪
たどる②①	辿る[他動 1]	沿路前进, 追寻
まじわる③	交わる[自動 1]	混杂, 交叉
サイズ①	size[名]	尺寸
ネズミ①	鼠[名]	老鼠
ベスト①	best[名]	最好, 全力
ほしよくしゃ③	捕食者[名]	捕食者
のがれる③	逃れる[自動 2]	逃跑
りてん①	利点[名]	优点
さいげん③	際限[名]	止境, 尽头
ちじょう①	地上[名]	地面
ランナー①	runner[名]	赛跑的人
チーター①	cheetah[名]	猎豹
じそく①	時速[名]	时速
こす①	超す[自他動 1]	超过
じょうげん①	上限[名]	最大限度
マグロ①	鮪[名]	金枪鱼
クジラ①	鯨[名]	鲸鱼
オキアミ①	[名]	磷虾
すくいとる④	掬い取る[他動 1]	捞取
ほはば①	歩幅[名]	步幅, 步伐
よつあし①	四足[名]	四条腿

基础日语(三)

けもの①	獣[名]	兽类
ギャロップ①	gallop[名]	飞奔, 疾驰
くうちゅう①	空中[名]	空中
うかべる①	浮かべる[他動 2]	浮动
しゅんかん①	瞬間[名]	瞬间
ちゃくち①	着地[名・自動 3]	着陆
くりかえす③④	繰り返す[他動 1]	反复
ささえる③①	支える[他動 2]	支撑
こっかく①	骨格[名]	骨骼, 身躯
せいげん③	制限[名]	限制

言葉の使い方

見かける

見受ける、目にとめる見始める

- 1) どこかで2,3回見かけた顔のような気がする。
- 2) テレビによく出る人を昨日キャンパスで見かけました。
- 3) このごろはあまりオート三輪を見かけない。
- 4) あの人を、この辺でよく見かけることがある。
- 5) 今、大事な野球の中継を見かけたところですから、また後で電話をください。

様子

① 物事の有様・状態 ② 人の表情や態度から感じられる有様 ③ そうなりそうな気配

- 1) 10年ぶりに行ってみて町の様子がすっかり変わったのに驚いた。
- 2) 誰にも邪魔されたくない様子をしている。
- 3) 最近、渡辺さんの様子がおかしい。あんまり外に行きたがらなくなった。何かあったのかもしれない。
- 4) もう3時も過ぎたが、あの方はまだ戻ってくる様子がない。
- 5) 犬のクロが元気がなく、大好きな食べ物をやっても、食べる様子もない。

離れる

① 二つのものの間が大きくあく ② 一緒にいたもの、またはあったものが分か